内海ITU事務総局長

ジュネーブ便り

（2002年10月）

◎9～10月の事務総局長の主な動向

9月23日～10月18日　第16回ITU全権委員会議
（マラケシュ、モロッコ）

ITU全権委員会議は、全加盟国（189カ国）が各国政府の全権委任を持って参加し、世界の電気通信の発展について議論し、ITUの活動方針、ITU憲章・条約の改正、ITU機構の改革などを決定する会議です。

今回の全権委員会議には、日本の片山大臣をはじめ50カ国以上の大臣を含めて162カ国から1,866名が参加しました。各国代表から、デジタル・デバイドの解消、情報社会に向けた環境整備や国際協調、世界情報社会サミットへの期待、インターネット時代のネットワークセキュリティーなどITUの今後の活動について多くの助言となる各国のポリシーステートメントが発表され、各議論が始まりました。

私からは、オープニングスピーチとして、これまで多くの新技術が開発され多様な電気通信サービスが発展しましたが、基本的な電気通信サービスすら受けられない村が世界で150万も存在する一方、利用し切れないほどの容量を持つネットワークが過剰に提供されている地域もあり、世界的に需要と供給のアンバランスが生じていることを指摘し、このような状況にITUや各国政府が何をすべきなのかハイレベルからの政策提言をまとめるべきであることを訴えました。

会議では、各国からの提案に基づいて多くの事項が検討されました幾つかを以下に紹介します。

・事務総局長、次長、各局長、ITU理事国、無線通信規則委員の各選挙

会議の2週目に今後4年間のITUをリードしていく各選挙職の選挙が実施されました。私は、皆様ならびに各国のご支援をいただき事務総局長に再任されました。無線通信局長（BR）はロシアからティモフィエフ氏が新たに当選し、その他の選挙職は再任されました。

・2004～2007年ITU戦略計画

2004～2007年のITUの活動の指針となるITU戦略計画が採択されました。今回の戦略計画は、ICTに関する加盟国や国際機関との国際協調の強化、グローバルなデジタル・デバイド改善の支援、ITUメンバーシップの拡大、セキュリティー、ITUの構造改革、メンバーシップへの情報提供の強化など、ITUが目指すべき6つの目標（ゴール）を設定し、それに基づいた各セクターの活動計画が採択されました。

・インターネットドメインネームへの活動

IPネットワークの発展が21世紀の経済社会の推進力になっていること、インターネットの発展にこれまでにも民間セクターが多く貢献をしていること、またトップレベルドメインネームの登録について各国政府および民間セクター共に関心が高まっていることなどを受けて、ITUは各加盟国の意向を反映してインターネットドメインネーム、IPv6などに関連する国際機関や国際的なプロジェクトと、今後とも協調していくことが決議されました。

・国際電気通信規則（ITR）の見直し

国際電気通信規則（ITR）は、国際料金精算の基本、国際回線設定の取り決めなど国際通信の運用業務を規定し各国政府が拘束される国際規則です。現在のITRは1988年の世界電信電話主管庁会議で改正採択された規則であることから、現在の電気通信サービスなどを反映してITRの見直しを検討する決議が採択されます。また、ITRの見直し、改正および採択を行う世界国際電気通信会議（WCIT）の開催については、2007年または2008年の開催を検討しますが、最終的な決定は次回の全権委員会議（2006年）で行うことになります。

・電波の定義（3,000GHz）

国際電気通信条約付属1005に“電波とは、当面3,000GHzより低い周波数の電磁波をいう。（一部略）”と電波の定義が規定されています。アメリカ諸国、アフリカ、中国から、3,000GHz以上の高い周波数を利用した電気通信システムなどの研究開発が進んでいることや、技術的な発展性を制限しないよう電波の周波数の上限を撤廃する提案がありました。欧州などを中心に、X線などへの考慮や各国の法整備など検討すべき事項も多く時期尚早と反対があり、議論の末、来年6月の世界無線通信会議（WRC）で再度検討することとなりました。

・世界情報社会サミット（WSIS）

世界情報社会サミット（WSIS）は、2003年および2005年に各国政府および民間等の首脳が参加して開催され、情報社会に向けた宣言と行動計画を採択します。WSISに向けて各国政府、国際機関等の事前の意見調整を諮るための準備会合（Prepcom）第2回会合が来年2月にジュネーブで開催されます。今会議が、Prepcom2にITU加盟国の総意として提案を入力できる最後の機会であることから、盛んな議論が行われました。各国大臣からのポリシーステートメントにおいても、このWSISを成功させることが、世界の電気通信および情報社会の発展につながりITUの発展にも寄与すると、多くの支援をいただきました。

今会議では、WSISで採択する宣言と行動計画へのITU提案（案）を以下の3項目を中心にして取りまとめました。

1. Providing access to ICTs for all
2. ICTs as a tool for economic and social development
3. Confidence and security in the use of ICTs

既に、ITU理事会の中にWSISに向けた検討を行う作業班が設置されていますので、この作業班で引き続き検討を行った後、Prepcom2にITU提案が入力される予定です。